

2. 調査票（小学生）

小学1年生から3年生の保護者の方へ

村山市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

～調査ご協力のお願い～

皆様には日頃より市政にご理解とご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

さて、村山市では、平成27年度からスタートした「子ども・子育て支援新制度」に基づき、平成27年度から平成31年度までの5ヵ年を計画期間とする「村山市子ども・子育て支援事業計画『むらやま子育て あいあるプラン』」を平成26年12月に策定し、子育てしやすい環境づくりのための諸施策を総合的に推進してきました。

今回、平成32年度から始まる次期計画を策定するにあたり、子育てをされているご家庭の現状とニーズを的確に把握・分析し、計画策定の基礎資料とするためのアンケート調査を実施することといたしました。

皆様からご回答いただいた内容は、市が策定する関連計画に活用するもので、回答者が特定されたり、回答が目的以外に利用されたりすることは一切ございません。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひ、ご協力くださいますようお願いいたします。

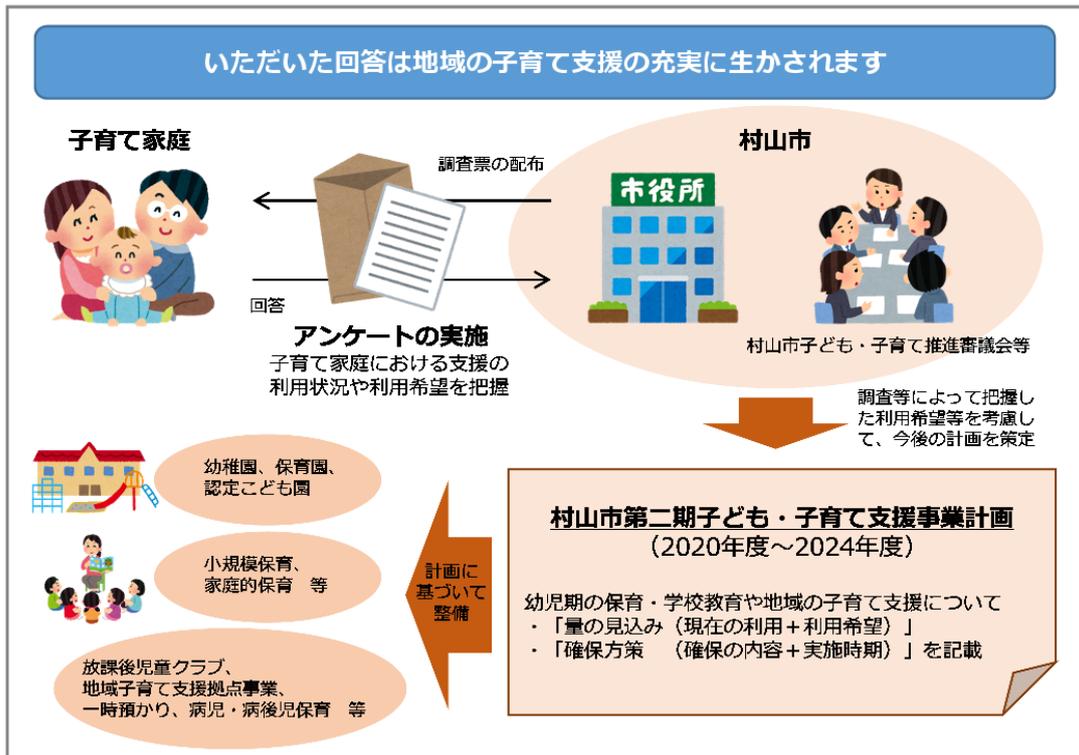
平成30年12月
村山市

～ご記入にあたってのお願い～

- (1) アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
- (2) 小学生のお子さんが2人以上のご家庭は、一番下のお子さんについてご記入ください。
- (3) この調査は無記名です。（調査票にお名前を書いていただく必要はありません。）
- (4) 調査票への回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。また、「その他」の場合は（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- (5) 数字で時間（時刻）を記入する場合は、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。
- (6) 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、「ことわり書き」に従ってご回答ください。特に「ことわり書き」などが無い場合は、次の設問にお進みください。
- (7) ご記入が済みましたら、お手数ですが、封筒に入れて、
平成30年12月28日（金）までにお返しく下さい。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

村山市 子育て支援課 電話：0237-55-2111（内線163）



「幼児教育・保育無償化」について

- 2019年10月から、消費税率が10%になった際の増収分を財源として、「幼児教育・保育無償化」が実施される予定です。
 - 3歳～5歳のお子さんは、世帯の収入に関わらず、幼稚園、認可保育所、認定こども園等の保育料が無償化(幼稚園は月額2万5,700円まで)される予定です。また、保育の必要性の認定※を受けている場合、認可外保育施設・サービス等についても、月額3万7千円を上限として無償化される予定です。
 - 0歳～2歳のお子さんは、住民税非課税世帯のみ、認可保育所・認定こども園・地域型保育事業の保育料が無償化される予定です。また、認可外保育施設・サービス等についても、保育の必要性の認定※を受けている場合、月額4万2千円を上限として無償化される予定です。
- ※「1ヶ月に64時間以上就労している」等の要件に当てはまると認定が受けられます。

【幼児教育・保育無償化の対象と内容】

	認可保育所 認定こども園 地域型保育事業	幼稚園	幼稚園の 預かり保育※1	認可外保育 施設・サービス ※1、※2	障害児 通園施設
3～5歳 (すべての世帯)	全額無償	月額 2万5,700円 まで無償	月額 1万1,300円 まで無償	月額 3万7,000円 まで無償	全額無償
0～2歳 (住民税非課税世帯)	全額無償	—	—	月額 4万2,000円 まで無償	全額無償

※1: 保育の必要性の認定を受けた場合

※2: 認可外保育施設・サービスとは、認可を受けていない保育施設やベビーシッター等の居宅訪問型保育等を指します。

注) 2018年10月時点で国から示されている情報です(今後変更することがありますのでご了承ください)。

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問7-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問7-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問8へ |

問7-1 問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

⇒ 問8へ

問7-2 問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他 () |

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる方はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|----------|---------|-----------|-------|
| 1. いる/ある | ⇒ 問8-1へ | 2. いない/ない | ⇒ 問9へ |
|----------|---------|-----------|-------|

問8-1 問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の方	4. 地域子育て支援拠点（子育て支援センター）の職員（ポポーのひろば、ぐんぐん、どんぐり広場）
5. 市保健課の保健師	6. 幼稚園・保育園・認定こども園・学校
7. 市の窓口	8. 子育て世代包括支援センター「ぽっぴーるーむ」
9. かかりつけの医師	10. 民生委員・児童委員
11. その他	}
【例】ベビーシッター	

<村山市の地域子育て支援拠点(子育て世代包括支援センター・子育て支援センター)>

事業名	事業内容
子育て世代包括支援センター「ぽっぴーるーむ」(保健センター内)	妊産婦のみなさんや子育て中のママが安心して楽しく子育てできるよう応援する相談窓口です。助産師の資格を持つ母子保健コーディネーターが、妊娠・出産・育児に関する一貫した相談支援を行います。母子保健コーディネーターをはじめ、保健師、管理栄養士もあわせてきめ細やかなサポートをしています。※利用は無料。
子育て支援センターポポーのひろば(甄葉プラザ内)	【NPO 法人ポポーのひろば】 毎月または季節に応じて、親子で参加出来る楽しいイベントを開催しています。
子育て支援センターぐんぐん(戸沢保育園内)	【(福)敬愛信の会】 育児に関する相談のほか育児講座、地域に出向いて子育て家庭対象のイベントなどを開催します。
子育て支援センターどんぐり広場(認定こども園ふたば大高根保育園内)	【(福)ふたば保育園】 子育て相談窓口、屋内遊び場、育児講座、地域交流の場など充実した内容です。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※ひとり親の方は、ご自身に関する設問にのみお答えください。

(1) 現在の就労状況についてお答えください。(母親、父親のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

母親	父親
1. フルタイム※ ₁ で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	1. フルタイム※ ₁ で就労しており、 育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	2. フルタイムで就労しているが、 育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等※ ₂ で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	3. パート・アルバイト等※ ₂ で就労しており、 育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	4. パート・アルバイト等で就労しているが、 育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない	6. これまで就労したことがない

※1フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※2パート・アルバイト等：「フルタイム」以外の就労

(2)-1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

※週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親	父親
就労日数…1週当たり □□ 日	就労日数…1週当たり □□ 日
就労時間…1日当たり □□ 時間程度	就労時間…1日当たり □□ 時間程度

(2)-2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

※時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。

母親	父親
家を出る時刻 □□ 時	家を出る時刻 □□ 時
帰宅時刻 □□ 時	帰宅時刻 □□ 時

問10 問9の(1)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問11へお進みください。

(1) フルタイムへの転換希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

母親	父親
1. フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある	1. フルタイムへの転換希望があり、 実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない	2. フルタイムへの転換希望はあるが、 実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を 続けることを希望	3. パート・アルバイト等の就労を 続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて 子育てや家事に専念したい

問11 問9の(1)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労した
ことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問12へお進みください。

就労したいという希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)

※該当する口内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

母親	父親
1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

問11-1 問11で「2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」または「3. す
ぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問12へお
進みください。

希望する就労形態をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

※該当する口内には数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。

母親	父親
1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)	1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外) →1週当たり □□日、 1日当たり □□時間程度	2. パートタイム、アルバイト等(「1」以外) →1週当たり □□日、 1日当たり □□時間程度

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ該当する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用している時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。小学校の授業終了後や休校日に保護者が就労等により家を留守にするため、児童だけになってしまう小学生に、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅 (祖父母や親族など子どものほかに誰かいる場合も含む)	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾 など)	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 放課後子ども教室 ※1…現在は、多くの教室が平日未実施 (大久保フレンドクラブ、戸沢わくわく太陽塾、そでさき元気っ子 など)	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 (たてやまキッズクラブ、コスモスキップクラブ、GOGO キッズクラブ、はや丸キッズクラブ、さんさんキッズクラブ、洗心児童クラブ、あじさいっ子クラブ、D-ぼけっと など)	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時台まで
6. ファミリー・サポート・センター (むらやまファミリー・サポート・センターの協力会員宅、または飯塚プラザ内子育て支援センターボボーのひろばのファミサポ託児専用室)	週 <input type="text"/> 日くらい
7. 放課後等デイサービス (おひさま など)	週 <input type="text"/> 日くらい
8. その他（公共施設、公園 など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 12-1 問 12 で「1. ～3.」または「8.」に○をつけた（「4. ～7.」を利用していない）方にうかがいます。

宛名のお子さんが「放課後子ども教室」、「放課後児童クラブ（学童保育）」、「ファミリー・サポート・センター」、「放課後等デイサービス」を現在利用していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 利用したい事業が地域にない	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない	
4. 利用料がかかる・高い	5. 利用料がわからない
6. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	
7. 事業の利用方法（手続き等）がわからない	
8. その他（	）
9. 特に利用する必要がない	

放課後の過ごし方の希望についてうかがいます。

問 13 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年と高学年、それぞれの期間について、現在お持ちのイメージでお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

※それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。小学校の授業終了後や休日日に保護者が就労等により家を留守にするため、児童だけになってしまう小学生に、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

放課後の居場所	低学年（1～3年生）	高学年（4～6年生）
1. 自宅 (祖父母や親族など子どものほかに誰がいる場合も含む)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 別居している祖父母宅や親族宅、友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾 など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 放課後子ども教室 ※1…現在は、多くの教室が平日未実施 (大久保フレンドクラブ、戸沢わくわく太陽塾、そでさき元気っ子 など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 (たてやまキッズクラブ、コスモスきっすクラブ、GOGOキッズクラブ、はや丸キッズクラブ、さんさんキッズクラブ、洗心児童クラブ、あじさいっ子クラブ、Dーほけっと など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時台まで	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時台まで
6. ファミリー・サポート・センター (むらやまファミリー・サポート・センターの協会員宅、または飯塚プラザ内子育て支援センターボボーのひろばのファミサポ託児専用室)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. 放課後等デイサービス (おひさま など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. その他（公共施設、公園 など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 14 問 13 で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（（1）

（2）それぞれについて、あてはまる番号1つに○）

また、利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない



利用したい時間帯
□□時から□□時まで

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない



利用したい時間帯
□□時から□□時まで

問 15 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）

また、利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
3. 利用する必要はない



利用したい時間帯
□□時から□□時まで

問 16-4 問 16-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間
日数など)がよくない | 4. 利用料がかかる・高い |
| 5. 利用料がわからない | 6. 親が仕事を休んで対応する |
| 7. その他() | |

⇒ 問 17 へ

問 16-1 で「3.」から「8.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 16-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

(あてはまる番号 1 つに○)

※「3.」から「8.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数を数字でご記入ください(数字は
 一枠に一字)。

※1年間でお考えください。

- | |
|---|
| 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ <input type="text"/> <input type="text"/> 日 ⇒ 問 17 へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 16-6 へ |

問 16-6 問 16-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他() |

宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりの利用についてうかがいます。

問 17 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（あてはまる番号・丸数字すべてに○）

※それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

	1年間の対処方法	泊数
1. あった	① （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	③ ②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	④ 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	⑥ その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
2. なかった		

問 17で「1.あった ①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒①以外を選択した方は 問 18へ

問 17-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる番号1つに○）

1. 非常に困難 2. どちらかという困難 3. 特に困難ではない

すべての方に、子育ての情報源や悩んでいることについてうかがいます。

問 18 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 家族や親族 2. 友人や知人 3. 近所の方
 4. 子育て仲間 5. 幼稚園、保育園、認定こども園、学校
 6. 市の窓口や子育て世代包括支援センター「ほっぴーるーむ」
 7. 子育て支援センター「ボポーのひろば」「ぐんぐん」「どんぐり広場」
 8. 市の広報やパンフレット 9. 市のホームページやフェイスブック
 10. 子育て支援アプリ「すくすく村山」
 11. インターネット、ラインやフェイスブックなどのSNS
 12. 子育て雑誌・育児書 13. テレビ、ラジオ、新聞
 14. その他（ ）
 15. 情報の入手先がない 16. 情報の入手手段がわからない

問 19 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になるのはどのようなことですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 病気や発育・発達に関すること	2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと	4. 子どもとの接し方に自信がもてないこと
5. 子どもを可愛く思えないこと	6. 家族の手助けがなかなか得られないこと
7. 話し相手や相談相手がいないこと	8. 子どもの教育に関すること
9. 子どもの友だちづきあい(いじめ等含む)	10. 家族間で子育て方針が異なること
11. 子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がわからないこと	
12. 子どもとの時間が十分にとれないこと	
13. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと	
14. その他 ()	
15. 特にない	

問 20 お子さんの父親は、育児にどのくらい参加していますか。(あてはまる番号 1つに○)

※母子家庭の場合は回答は不要です。

1. 十分積極的に参加している	2. 積極的に参加している
3. どちらかといえば参加している	4. あまり参加していない
5. ほとんど参加していない	

すべての方に、村山市の子育て環境についてうかがいます。

問 21 教育・保育・学校の環境について望むことは何ですか。(あてはまる番号 3つまでに○)

1. 自宅や職場などの近所にあること	2. 延長保育や預かり保育、放課後児童クラブなどが利用できること
3. 同年代の子ども同士が多数で過ごせること	4. 少数体制で子どもを見てもらえること
5. 子どもの安全体制が十分なこと	6. 行事など豊かな体験活動ができること
7. 保育士・先生等が充足していること	8. 保育士・先生等が熱意をもっていること
9. 相談しやすい環境が整っていること	10. 情報発信・共有の環境が整っていること
11. 給食費が無料であること	12. 冷暖房などの環境が整っていること
13. 清潔な施設であること	14. バリアフリー、ユニバーサルデザインの施設であること
15. その他 ()	

問 22 村山市では独自の子育て支援を行っています。それぞれについてどのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。(①～⑬の「(1) 施策の評価」及び「(2) 今後力を入れるべきか」について、それぞれあてはまる番号1つに○)

	(1) 施策の評価					(2) 今後力を入れるべきか				
	評価する	評価する どちらかといえば	評価しない どちらかといえば	評価しない	わからない	特にそう思う	そう思う	いえない どちらかも	そう思わない あまり	そう思わない
① 不妊・不育治療に補助 (赤ちゃんが欲しくて治療している方を応援します。不妊治療は1回最高35万円(初回は最高50万円)を助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 新生児聴覚検査費用を助成 (出産入院中に聴覚検査を受ける場合、3,500円を上限に助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 赤ちゃん応援ギフトを贈呈 (育児用品などをプレゼントします。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 産後1ヶ月の母子健診が無料 (出産から1ヶ月経過した母子の健診費用を市が全額助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 保育料が半額 (村山市は独自に、お子さんの保育料を1人目から半額にしています。私立幼稚園や届出保育施設なども半額相当分を補助しています。さらに、同時入所のお子さん3人目以降は無料です。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 児童手当に年額9万円プラス (第3子以降のお子さんが満3歳になるまで、1人あたり月額7,500円を上乗せして支給します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ 小・中学生の学習を無料でサポート (中学1・2年生を対象にした学習会や主にひとり親家庭の小中学生を対象とした学習塾を開催します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ ピロリ抗体検査と除去治療が無料 (中学2年生を対象に実施しています。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ 中学3年生まで医療費が無料	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩ 給付型奨学金 (学ぶ意欲と能力がある子どもの高等学校、大学への進学を応援します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑪ 転入者の家賃に年間10万円を助成 (市外から市内の民営アパートなどに転入する場合、年間10万円を最大3年間助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑫ 新築住宅の設計費を助成 (市内に新築する際、雪や経済性を考えた「あんばい、いい家」設計コンペで入賞した設計を利用すると、最大150万円を助成します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑬ 新築、土地・中古住宅の購入に最大150万円補助 (市内に定住を目的に新築または土地・中古住宅を購入する方に補助します。)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 23 村山市では、子どもがすこやかに育つため、以下の①～⑩の施策の方向を定めて環境整備を進めています。それぞれについてどのような評価をしていますか。また、今後力を入れていくべきだと思いますか。(①～⑩の「(1) 施策の評価」及び「(2) 今後力を入れるべきか」について、それぞれあてはまる番号 1 つに○)

	(1) 施策の評価					(2) 今後力を入れるべきか				
	評価する	評価する どちらかといえば	どちらかといえば 評価しない	評価しない	わからない	特にそう思う	そう思う	いえない	どちらとも そう思わない	あまり そう思わない
① パパママ学級や子育て支援センターの講座・イベント、男性の育児参画、手当支給による経済支援など、親や家族が子どもと向き合う機会を増やす取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
② 保育料の軽減や保育施設の整備のほか、放課後児童クラブや一時預かり、病児保育など様々なニーズに対応した預かりの仕組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
③ 市や子育て支援センターの相談、アプリや子育てガイドブックなどの情報発信で、相談しやすく情報を得やすい体制づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
④ 健診や予防接種、医療費の無償化、乳児訪問、不妊治療助成など、母体や子どもの健康確保のための支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑤ 障がい児の支援や親と子どもの自立支援、ひとり親家庭の負担軽減など、障がい児家庭やひとり親家庭への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑥ 困難を有する児童や家庭への支援、虐待やいじめの早期発見・未然防止、不登校など、気がかりな子どもと家庭への理解と支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑦ 遊び場の確保や同世代・世代間交流の場づくりなどの環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑧ 授業改善・学力向上のための支援や地域特色を生かした学習など、子どもの視点に立った生活環境デザインへの取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑨ 若者の交流や地域との関り、心肺蘇生講習や自殺予防など命の大切さを考える機会による愛情や愛着がわく地域環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
⑩ 雇用拡大の促進や若者向けの安価で良好な住宅環境の提供、空き家の利用促進など、働く場や生活環境の確保への取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 24 あなたは、村山市の住みやすさについてどう感じていますか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば住みにくい |
| 5. 住みにくい | |

問 25 あなたは、今後も村山市に住み続けたいと思いますか。(あてはまる番号 1 つに○)

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| 1. これからも(可能な限り)住み続けたい | ⇒問 26 へ |
| 2. 機会があれば市外へ出たいが、現在その予定はない | } ⇒問 25-1 へ |
| 3. 近い将来市外へ出る予定がある、または計画している | |
| 4. 今はまだわからない | |

問 25-1 問 25 で「2.」～「4.」と回答された方(“転出の可能性のある方”)におうかがいします。あなたは、どのようになれば、現住地で住み続けたい・離れても戻ってきたいと思えますか。重要な理由の順に最大 3 つまで選び、それぞれの 1 番目から 3 番目の欄に番号を記入してください。

1 番目 2 番目 3 番目

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 住む家や土地が提供されれば | 2. 希望する仕事があれば |
| 3. 税金が安ければ | 4. 娯楽施設が多ければ |
| 5. 都会にあるような商業施設が多ければ | 6. 子育て支援が充実していれば |
| 7. 医療・福祉サービスが充実していれば | 8. 雪対策ができていれば |
| 9. 公共交通機関が便利であれば | 10. 企業の賃金が高ければ |
| 11. 人と人のつながりが充実していれば | 12. その他() |
| 13. 特になし | |

問 26 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

(あてはまる番号 1 つに○)

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問 27 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。